

# 令和5年度秋田支部保険者機能強化予算（案）

秋田支部保険者機能強化予算（案）

予算区分		支部予算枠	予算枠の算出基準
支部医療費適正化等予算	①医療費適正化対策経費	10,156千円	全体予算8億円を全支部一律に定額部分600万円を設定したうえで、残りを加入者数で按分し加算し、効率化分（3%）を差し引いた額
	②広報・意見発信経費		
	⑧特別枠	2,510千円	全体予算2億円と各支部の前年度予算枠から3%効率化した0.24億円を合わせた金額から加入者按分案分した額
支部保健事業予算	③健診経費	37,007千円	全体予算40億円を40歳以上の加入者数で按分した上で、効率化分（3%）を差し引いた額
	④保健指導経費		
	⑤重症化予防事業経費		
	⑥コラボヘルス事業経費		
	⑦その他の経費		
	⑧特別枠	9,150千円	各支部の前年度予算枠から3%効率化した金額を加入者数で按分した額

**特別枠予算**

支部保険者機能強化予算の取組に意欲的な支部に対し、通常の予算に追加して予算措置を行うものエビデンスを踏まえた自支部の課題解決に向けた取組であり、かつ医療費適正化または加入者の健康増進に資する取組を対象とする基準額はあくまでも目安であり、基準額以上の予算要求自体に制限は設けない

秋田支部医療費適正化等予算（案）

千円未満切り上げ

区分		新規 継続	取組名	予算額	備考
① 医療費適正化対策経費	企画部門関係	継続	情報誌を利用した、医療費適正化に関する広報（時間外受診等）	709千円	子育て情報誌等への記事や広告の掲載
		新規	WEB広告による医療費適正化広報	1,551千円	加入者へWEB広告やランディングページを活用した医療費適正化に関する広報
	小計			2,260千円	
② 広報・意見発信経費	紙媒体による広報	継続	納入告知書同封広報紙、総合パンフレット等の作成	1,649千円	健康保険あきた等事業所向けの定期発行物や健康保険制度や手続きについてのパンフレットを作成
		継続	限度額適用認定郵送申請セット、療養費（治療用装具）郵送申請セットの作成	473千円	協会窓口での申請で多い申請書について簡単に郵送で申請できるようセット化したものを作成し、医療機関等に配布
	その他の広報	継続	メールマガジンの魅力を高めるランディングページの作成	1,353千円	メールマガジンの登録につながるような特設サイトの作成（6回分）
		継続	作成済み素材を活用した各種広報（バスラッピング、ポスター2種、動画等）	2,156千円	これまで作成した広報素材を有効活用し、支部の認知度アップへ図る
		新規	支部ホームページ掲載コンテンツを活用した広報事業	1,711千円	健康コラムやレシピを作成しホームページに掲載しメールマガジンや紙媒体の広報誌等でも活用する
		新規	ラジオCMによる健康づくり啓発事業	546千円	ラジオCMにて医療費適正化や加入者の健康づくりにかかる広報を実施する
	小計			7,887千円	
合計			10,147千円		

# 秋田支部保健事業予算（案）

千円未満切り上げ

区分	新規 継続	取組名	予算額	備考
③健診経費	継続	健診実施機関における健診実施件数増に対するインセンティブ	3,520千円	健診推進費より健診実施数増加に対する金銭的インセンティブを予定
	継続	生活習慣病予防健診および特定健診の支部独自健診案内	1,012千円	令和5年度の健診について年次案内のため各種広報物の作成
	新規	県北地域の事業所への受診勧奨	363千円	県北地域において、健診機関の近くの事業所に直接DMでお知らせすることで健診受診率向上を図る
	継続	同意書の取得および事業者健診結果データの取得	4,201千円	アウトソーシングにより事業者健診にかかる同意書の取得及び健診結果データの取得
	継続	協会けんぽ主催の集団健診	1,936千円	受診機会の増加を図り、健診実施数の増加を目指し、協会けんぽ主催により集団健診を実施する
	継続	市町村集団健診への特定健診受診勧奨	809千円	市町村の集団健診の日程チラシを作成し直前に通知予定
	継続	特定健診未受診者に対する受診勧奨	2,906千円	未受診者（被扶養者）に対して、文書による受診勧奨を実施
	継続	40歳到達の女性被扶養者への健診受診勧奨	313千円	令和6年度に40歳を迎える女性被扶養者に対し受診券の送付予告及び受診勧奨を行う
	新規	被扶養者の経年的な受診状況に応じた受診勧奨	203千円	直近2～3年間で未受診の対象者へDMによる受診勧奨を行う
	継続	その他事務経費	69千円	健診実施機関実地調査時の交通費等
	小 計			15,323千円
④保健指導経費	継続	中間評価時の血液検査費	528千円	特定保健指導実施機関における特定保健指導で、中間評価のために実施する血液検査の費用
	継続	保健指導用パンフレット作成等	700千円	保健指導に活用するパンフレットを支部独自に作成、購入
	新規 継続	特定保健指導の実施率の向上	1,991千円	保健指導利用を事業所等動員するための費用
	継続	その他事務経費	1,132千円	公民館等での保健指導時の会場賃借料や測定用機器の購入費等
	小 計			4,352千円
⑤重症化予防 事業経費	継続	未治療者に対する受診勧奨	9,936千円	アウトソーシングの委託数増加見込み
	継続	糖尿病性腎症患者の重症化予防対策	94千円	医療機関と連携した糖尿病成人症の患者に対する保健指導にかかる交通費
	小 計			10,030千円

秋田支部保健事業予算（案）

千円未満切り上げ

区分	新規 継続	取組名	予算額	備考
⑥コラボヘルス事業経費	継続	健康経営宣言事業所等の宣言取組み支援	1,655千円	健康経営宣言事業所向けに健康に関する各種資料の作成・配布。宣言内容の見直し等フォロー業務
	継続	運輸業団体と連携したコラボヘルス	495千円	運輸業団体と協同で広報誌「ニュースレター」を作成・配布
	新規	健康経営宣言事業所向け健康講座	1,650千円	WEBや訪問による運動に関する健康講座の実施
	継続	健康経営宣言の推進事業	297千円	業種を絞った動奨や商工会議所会員事業所等へ動奨（事業所カルテ等活用）
			小 計	4,096千円
⑦その他の経費	継続	地方自治体等と連携した健康づくりイベントによる啓発事業	430千円	自治体、医療関係団体と共同で開催する健康づくりイベントにてブース出展（コロナウイルス感染症の感染状況考慮の上実施）
	継続	受動喫煙防止啓発による禁煙促進事業	421千円	秋田市母子手帳別冊への広告 受動喫煙防止宣言ミニのぼりの作成 体育協会発行広報誌への広告掲載
	継続	歯と口腔の健康づくり事業	779千円	歯科健診により糖尿病等生活習慣病との関連がある歯周病を予防
	継続	健康リスク抑制にかかる秋田大学との共同研究	1,575千円	秋田大学との共同研究や運輸業に対する栄養調査にかかる費用
			小 計	3,203千円
合 計			37,004千円	

秋田支部特別枠予算（案）

千円未満切り上げ

区分	新規 継続	取組名	予算額	備考
⑧医療費適正化予算	新規	時間外受診抑制・ジェネリック医薬品使用促進を目的としたターゲットを絞った医療費適正化事業	4,295千円	WEB広告や個別通知事業による医療費適正化事業
	小 計		4,295千円	
⑧保健事業予算	新規	さわやか空間拡大プロジェクト	2,751千円	自治体や商工会議所等と連携し、個室空間での受動喫煙・たばこの臭いエチケットの啓発を図る
	新規	鹿角市との共同事業を通じた重症化予防事業	3,050千円	鹿角市との共同研究を通じ健康課題を洗い出し、共同事業を行うことで重症化予防を図る
	新規	健康経営宣言事業所を対象とした減塩啓発事業	3,718千円	被保険者の塩分摂取量調査を通してハイリスク群を特定し、健康講座等による介入を行う
	小 計		9,517千円	
合 計			13,812千円	

分野		支部医療費適正化等予算			
区分	①医療費適正化対策経費			②広報・意見発信経費	
事業名	①-1 情報誌を利用した、医療費適正化に関する広報（時間外受診等）	①-2 WEB広告による医療費適正化広報	①-3 納入告知書同封広報紙、総合パンフレット等の作成	②-1限度額適用認定証、療養費（治療用装具）申請セットの作成	
区分 (新規・継続)	継続	【新規】	継続	継続	
事業目的	時間外受診の抑制による医療費適正化	医療費適正化に関する周知広報	事業に関するお知らせや制度全般に関する周知広報	限度額適用認定証の利用促進、各種申請の郵送化促進	
事業概要	時間外受診が全国平均よりも高い乳幼児や秋田市周辺を対象に、子育て情報誌や秋田市内に配布されるフリーペーパーを利用した医療費適正化に関する広報を実施	時間外受診やジェネリック医薬品等の医療費適正化啓発にかかるランディングページを作成し、WEB広告による啓発広報実施	日本年金機構が事業所に毎月送付する保険料納入告知書に支部広報紙「健康保険あきた」を同封してもらい、全事業所へ送付  協会けんぽの事業を広く知ってもらうため、総合パンフレット「健康保険はわかりガイド」を作成し、新規適用事業所を中心に配布	限度額適用認定証の利用促進や各種申請の郵送化促進を図るため、申請セットを作成し、配布	
実施時期	通年	11月～1月	通年	通年	
経費	709千円	1,551千円	1,649千円	473千円	

分野	支部医療費適正化等予算			
区分	②広報・意見発信経費			
事業名	②-2 メールマガジンの魅力を高めるランディングページの作成	②-3 作成済み素材を活用した各種広報（バスラッピング、ポスター2種、動画等）	②-4 支部ホームページ掲載コンテンツを活用した広報事業	②-5 ラジオCMによる健康づくり啓発事業
区分 (新規・継続)	継続	継続	【新規】	【新規】
事業目的	メールマガジンの登録者数および開封率の向上	健診受診率の向上、喫煙率の減少、塩分摂取量の減少、運動会数の増加によりヘルスリテラシーの向上	秋田支部ホームページ掲載コンテンツの充実及び加入者のヘルスリテラシーの向上	健康リスク改善ならびにヘルスリテラシーの向上
事業概要	メールマガジン紙面に目を引く新たな特設コーナー（新企画）などをつくることで、秋田支部のメールマガジンの登録者数及び開封率の向上のためのランディングページ（特設サイト）の作成	令和4年度までに秋田支部で作成した各種広報素材を活用した広報を実施	本部で制作終了となった「季節の健康」等ホームページコンテンツに代わり、健康コラムやレシピを制作し掲載する 掲載した内容は、メールマガジンや紙媒体広報においても活用し、加入者のヘルスリテラシー向上を図る	健診受診や運動・減塩の啓発等を促すラジオCMを実施
実施時期	9月～2月	通年	5月～3月	5月～3月
経費	1,353千円	2,156千円	1,711千円	546千円



分野	支部保健事業予算		
区分	③健診経費		
事業名	③-1 健診実施機関における健診実施件数増に対するインセンティブ	③-2 生活習慣病予防健診および特定健診の支部独自健診案内	③-3 県北地域の事業所への受診勧奨
区分 (新規・継続)	継続	継続	【新規】
事業目的	生活習慣病予防健診受診率の向上	生活習慣病予防健診および特定健診受診率の向上	生活習慣病予防健診の向上
事業概要	生活習慣病予防健診の実施機関に対し、健診実施数増加に対する金銭的インセンティブの実施	生活習慣病予防健診等一斉発送のご案内の他に、県内独自の事情周知や、健診情報を効果的に発信するための支部独自印刷物を同封し、受診勧奨を実施	生活習慣病予防健診を施設で受診できることを近隣の事業所へ健診機関の場所や健診項目を記載したダイレクトメールを送付
実施時期	通年	一斉発送時から通年	10月～12月
経費	3,520千円	1,012千円	363千円

分野	支部保健事業予算		
区分	③健診経費		
事業名	③-4 同意書の取得および事業者健診結果データの取得	③-5 協会けんぽ主催の集団健診	③-6 市町村集団健診への特定健診受診勧奨
区分 (新規・継続)	継続	継続	継続
事業目的	同意書および事業者健診結果データの取得	特定健診受診率の向上	特定健診受診率の向上
事業概要	<p>労働安全衛生法に基づく定期健康診断について県内で最も多く実施している、秋田県総合保健事業団にて事業所へ送付する健診のパンフレットに同意書の提出勧奨文書等を同封</p> <p>紙媒体での健診結果の取得が増加傾向にあるため、外部委託により同意書および結果データの取得</p>	<p>被扶養者を対象に地域の公共施設や商業施設で無料の集合型健診を開催し、対象者宛に直接ダイレクトメールで受診勧奨実施</p> <p>健診実施機関については、公募による企画競争（企画書提出）を行い、魅力的な健診実施体制を構築できる（加点要素の高い）健診機関を選定</p>	<p>協定を締結している大仙市との共同事業として、公民館等で実施している大仙市の集団健診について、加入者の自宅付近の会場、日程をダイレクトメールにて広報</p>
実施時期	通年	8月～2月	4月～10月
経費	4,201千円	1,936千円	809千円

分野	支部保健事業予算		
区分	③健診経費		
事業名	③-7 特定健診未受診者に対する受診勧奨	③-8 40歳到達の女性被扶養者への健診受診勧奨	③-9 被扶養者の経年的な受診状況に応じた受診勧奨
区分 (新規・継続)	継続	継続	【新規】
事業目的	特定健診受診率の向上	特定健診受診率の向上	特定健診受診率の向上
事業概要	<p>特定健診未受診者に受診勧奨や事業者健診結果データ提出勧奨にかかるダイレクトメールの送付</p> <p>医療ガイド等へ広告を掲載</p>	<p>令和6年度に40歳を迎える女性被扶養者に対し、乳がん自己検診用媒体（乳がん検診手袋）を同封し、特定健診・がん検診の受診勧奨および受診券の送付を予告及び受診勧奨</p>	<p>直近2～3年間で未受診である無関心層の被扶養者へ「未受診者のためのダイレクトメール」であることを強調した特化型の勧奨を実施</p>
実施時期	7月、1～2月	3月	6月、11～12月
経費	2,906千円	313千円	203千円

分野	支部保健事業予算		
区分	④保健指導経費		
事業名	④-1 中間評価時の血液検査費	④-2 保健指導用パンフレット作成等	④-3 特定保健指導の実施率の向上
区分 (新規・継続)	継続	継続	【新規】・継続
事業目的	保健指導利用者の食生活や運動等生活習慣改善努力の効果測定	保健指導時の活用	特定保健指導の新規開拓および終了者数の向上
事業概要	協会けんぽ秋田支部の保健師・管理栄養士または受託機関が実施する特定保健指導の利用者において、生活習慣改善努力の効果測定を希望する者に対し血液検査を実施	保健指導時に全支部一括で使用するパンフレット以外に、支部独自でポピュレーションアプローチ及びハイリスクアプローチに活用する食生活(減塩・カリウムを含む野菜・外食・間食等)、運動、たばこ、高血圧症、糖尿病、脂質、メンタルヘルス等に関連したといった題材のパンフレットを作成及び購入	<p>特定保健指導の終了者に対してナッジ理論を活用した文書を送付し、次年度も特定保健指導の対象者に該当しないよう勧奨を実施</p> <p>生活習慣病予防健診実施機関ではない個人病院や薬局を対象に、指導実績に基づく金銭的インセンティブを実施</p> <p>共同利用や訪問案内発送等の際に支部独自印刷物を同封</p> <p>集合健診を受診した被扶養者に対して、健診結果説明会の場を活用した特定保健指導を実施</p>
実施時期	通年	通年	通年
経費	528千円	700千円	1,991千円

分野	支部保健事業予算	
区分	⑤重症化予防事業経費	
事業名	⑤-1 未治療者に対する受診勧奨	⑤-2 糖尿病性腎症患者の重症化予防対策
区分 (新規・継続)	継続	継続
事業目的	未治療者の医療機関受診率の向上	糖尿病性腎症患者に対する重症化予防、QOLの向上、医療費適正化
事業概要	<p>健診受診当日、血圧高値者に対し、実施機関から受診勧奨チラシを配布（当日配布が実施不可能な場合は結果とともに配布）</p> <p>健診結果が再検査（血圧や血糖が脂質等が高値等）となった方に対して、重症化する前に医療機関を受診するよう電話や文書により勧奨を行う。電話勧奨については外部委託を実施</p>	<p>大館市立総合病院の医師より紹介を受けた協会けんぽ加入者で糖尿病性腎症患者へ、外来終了後に、院内管理栄養士と協会けんぽ所属の秋田県糖尿病療養指導士の資格を有した保健師・管理栄養士が訪問・電話・文書等の保健指導を実施</p>
実施時期	通年	通年
経費	9,936千円	94千円

分野	支部保健事業予算			
区分	⑥コラボヘルス事業経費			
事業名	⑥-1 健康経営宣言事業所等の宣言取組み支援	⑥-2 運輸業団体と連携したコラボヘルス	⑥-3 健康経営宣言事業所向け健康講座	⑥-4 健康経営宣言の推進事業
区分 (新規・継続)	継続	継続	【新規】	継続
事業目的	健康経営宣言の取組みに対する支援、健康経営の推進	運輸業団体と連携した事業所における健康づくりの推進、健康経営宣言の普及	健康経営宣言事業所へのフォローアップおよび健康経営の取組強化 運動機会の創出	健康経営宣言事業所数の拡大
事業概要	健康経営宣言して健康づくりに取り組んでいる事業所担当者の方から、「健康づくりに取り組むための啓発資料がほしい」、「他の事業所の取組み事例を知りたい」などの声が多数聞かれることから、健康づくりに関する資料の配布等を実施  宣言事業所の取組の質向上を図るため、訪問・文書等によるフォローを実施	業種別にみると運輸業の健康リスクが特に高いことに着目し、協定締結先である秋田運輸支局・バス協会・トラック協会・ハイヤー協会と協力連携して、運輸業界に特化した広報紙「ニュースター」を作成・配布するとともに、運輸業界における健康経営宣言の普及を図る	冬季の運動機会減少やメタボリックシンドロームリスクに対応するため、オンラインや訪問での「運動」に特化した健康セミナーを実施	宣言事業所数は着実に増加しているものの、更なる拡大を図るため、保健指導時の勧奨、DM等による案内、電話勧奨、各種研修会の場での勧奨を実施
実施時期	通年	6月、9月、12月、3月	8月～3月	通年
経費	1,655千円	495千円	1,650千円	297千円

分野	支部保健事業予算			
区分	⑦その他の経費			
事業名	⑦-1 地方自治体等と連携した健康づくりイベントによる啓発事業	⑦-2 受動喫煙防止啓発による禁煙促進事業	⑦-3 歯と口腔の健康づくり事業	⑦-4 健康リスク抑制にかかる秋田大学との共同研究
区分 (新規・継続)	継続	継続	継続	継続
事業目的	加入者の健康づくり啓発及び関係機関との連携強化	喫煙者の減少	歯周病、糖尿病等の予防	被保険者の将来の健康リスクの抑制
事業概要	<p>共同で健康づくり事業を推進することが効果的であること、また、他団体との良好な関係構築の観点から、自治体や関係団体と連携した事業を展開する。</p> <p>①秋田市と共同で健康フォーラムを開催 ②秋田県と共同で受動喫煙防止フォーラムを開催 ③関係団体と連携して、イベント等でのブース出展や広報物の配布</p>	<p>受動喫煙などの喫煙による害の啓発や受動喫煙防止施設の登録拡大に取り組む。</p> <p>①母子手帳等への受動喫煙の害に対して広告掲載 ②子どもを介した親への啓発を行うため、小学校の授業で講演、リーフレットの配布 ③県と共同で実施している受動喫煙防止施設登録認定事業で、事業所に対して受動喫煙防止宣言ミニのぼりを配布</p>	<p>秋田県歯科医師会、秋田県口腔支援センターと連携し、歯周病と糖尿病に関する啓発活動と歯科健診、歯科に関する保健指導を実施</p>	<p>生活習慣病予防リスクのうちメタボ・血圧において男女ともワースト1位、その他の項目もすべてワースト5位以内となっているため、生活習慣病リスク保有割合が高い要因を教育研究機関と共同研究を実施</p> <p>トラックドライバーを対象に栄養調査を実施し、栄養バランスのフィードバックを行うことで介入調査を実施</p>
実施時期	①10月、②6月・11月、③3月	①4月、②4月・9月、③通年	5～3月	通年
経費	430千円	421千円	779千円	1,575千円

分野		支部特別枠予算			
区分	⑧医療費適正化予算	⑧保健事業予算			
事業名	⑧-1 ターゲットを絞った時間外受診抑制のための広報啓発事業	⑧-2 さわやか空間拡大プロジェクト- エレベーター（個室空間）のきれいな空気づくり作戦 -	⑧-3 鹿角市との共同事業を通じた重症化予防事業	⑧-4 健康経営宣言事業所を対象とした減塩啓発事業	
区分 (新規・継続)	【新規】	【新規】	【新規】	【新規】	
事業目的	時間外受診の抑制	喫煙者の減少 受動喫煙防止	重症化予防、健康リスク保有者の減少	血圧リスク保有者の減少	
事業概要	<p>病床200床以上の医療機関及び県内の保育園を起点にジオターゲティング広告を実施</p> <p>乳幼児の時間外受診抑制・ジェネリック医薬品使用促進のために秋田市周辺に展開する広報誌等への広報を実施</p> <p>時間外受診の頻度が多い受診者へは、個別の通知事業を実施</p>	<p>エレベーター等の個室空間での、たばこによる目に見えない受動喫煙による害（サードハンド・スモーク）や、たばこの臭いエチケットを意識させ、自発的に禁煙を始めることを目的に 秋田商工会議所や秋田市等と協力し、秋田市内の加入事業所等に対して、禁煙へ導く一助になるステッカーやポスター等の提供や講演等のポピュレーションアプローチを実施</p>	<p>協会けんぽと鹿角市国保データを合わせて共同分析を行うことで、鹿角市における健康課題の洗い出し、生活習慣病リスク保有者への介入アプローチやポピュレーションアプローチによる共同事業を実施</p> <p>効果があった取組については、全県に規模を広げ実施していく予定</p>	<p>健康経営宣言実施事業所被保険者の塩分摂取量調査を実施 塩分摂取量平均が高い事業所には、減塩やカリウム摂取にかかる健康講座や塩分チェッカー等を用いた改善指導を実施</p>	
実施時期	5～3月	5～3月	通年	5～3月	
経費	4,295千円	2,751千円	3,050千円	3,718千円	